



第116号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
honbu@rosario.jp

ロザリオの聖母会、これから

理事長 細淵宗重

5月の理事会・評議員会でこれからのロザリオの聖母会のあり方にかかると大きなことを決めていただきました。それは今後のロザリオの聖母会の姿といってもいいものです。

理 事 会

昨年11月21日、和田前理事長がなくなりました。昭和22年から始まったロザリオの聖母会の事業にかかると創業の方々の系譜がここで途切れた形になりました。これからのことを考える中で私たちは、社会福祉法人として当たり前のことですが、正真正銘、理事会を中心として運営させていただくことにいたしました。

物事を検討し、決めるのは理事会の責任と権限であることは当然のことながら、ひとたび問題が起こればその責任も理事会にあり、その解決は理事会の責任であるということですので。さらに理事長を選任し、場合によっては理事長を解任できるのも理事会です。

理事長は理事会の決議に基づいて日常業務を処理します。そのような目で理事会を見ますと、本来は40代・50代が主力になって、そして先輩や組織外の方々にも参加していただいでご指導をい

ただくというのが普通ですが、私どもの場合、私から始まってそうでしたが、皆さんが小原ケイ所長や和田理事長の応援部隊でした。そこで今回、定員8人の理事会を4人増やして12人にさせていた

評 議 員 会

理事会のチェック機能として評議員会があります。この評議員会は理事の選任を行うという重大な任務もあります。

評議員会は開催のつど、評議員の互選で議長が選ばれ、審議が行われます。今回新に決めていただいたことは、評議員の任期である2年の間は議長を固定していただき、その議長が理事会に参加して意見を述べることが出来るようにするということです。

これによって理事会と評議員会の関係がより現実的なものになります。評議員会の定員は今回17人から25人になりました。その構成は障害を持つ当事者・そのご家族、地

域の方々です。そして今回は特に、いろいろな意味で協力関係にあるNPOの方々にもご参加いただきました。

後 援 会

大事なことがもうひとつあります。後援会の会長さんにも理事会に参加して意見を言っていただけることになりました。

ロザリオの聖母会に後援会が出来て22年。毎年後援会からいただく寄付金はロザリオの聖母会の大きな力となってきました。補助金などではなかなか難しい設備の充実や環境整備など、他の施設には見られないことが私どもにも出来たのはひとえに後援会のおかげです。加えてロザリオ福祉まつりの主催など、各種イベントを実施してくださっております。

いつも緑の下の力持ちをやってくださいます後援会の方々のご意見も是非本会の経営に反映できたらという願いです。

職員の見解は毎月行われている法人運営会議と、職員から選ばれた現役理事を通じて取り入れていきます。このようにして、全員参加で、事業の健全な充実・発展に努めていきたいと考えております。施設は地域の財産です。そして、社会福祉法人が行う事業は、地域のために行われます。

先人の足跡② 戸塚神父のバラの花

理事長 細淵宗重

戸塚文卿神父は昭和14年8月17日になくなっていく。このとき神父は47歳であった。

私も、現在ロザリオの聖母会で仕事をしている施設長・幹部職員がの年齢を考えると、戸塚神父の年齢の若さに驚かされる。昭和6年に戸塚神父が海上寮を始めたときは30代であったことになる。

さらに、47歳で亡くなるまでの間に日本全国で活躍された足跡をたどると、本当に驚くことが多い。

海上寮を開設したあと、東京都小金井市には桜町病院を開設し、さらに下落合の聖母病院の院長をも引き受けている。そしてこの間にもおびただしい翻訳と著作がある。加えてさまざまな組織・各種団体の責任者をしている。

その戸塚神父の息抜きは、海上寮に来て療養者と共に過ごす時間であったといわれている。海上寮での療養者との交流は、当時の療養者によって編纂された「蒼海」に詳しいので、是非戸塚記念館でひもどいてほしい。

その戸塚神父が海上寮の療養者を慰めるために植えたバラの花が今も戸塚神父の心を運んで毎年5月から6月にかけて、白とピンクのきれいな花を咲かせている。

海上寮の建築などに伴い、いろいろな場所を移動したようで、現在は海上寮の給食棟と洗濯場の間で患者さんと職員の間を歩ませている。

戸塚神父が手ずから植えたバラの「命」が、神父の分身のようにして、海上寮を見守るがごとく咲き続けていることは、なんともありがたく、長く大事にしたいものである。

その後の歴史をたどると、戸塚神父は考えていなかったかもしれないが、そこには見えない手が働いていたようにも思えてくる。

戦後、戸塚神父の仕事を再興して引き継ぐことになった人々は、組織の名前は「ロザリオの聖母会」と名乗り、バラの花をその法人名にいたたくことになる。そして彼女らの最後の理事長であった和田

初枝の霊名(クリスチャンネーム)はローザといい、バラにちなむ聖人の名をいただいている。

そのバラを2年越しで挿し木で育て、今年には本部前の四つ角の聖



聖家族園に就任して

聖家族園 園長 中曾根才智

この4月より長島前園長の後任として聖家族園に就任しました。

就任して感じた事は、聖家族園の利用者は強度行動障害、精神疾患、てんかん等重度の方が多く、とが分かりました。平成6年に開設されましたが、重度の利用者が多く、建物や設備に多くの不具合が生じており、またメンテナンスもなされていないところがたくさんありました。

理事長・家族会・職員には就任当初一年間は何もしませんが公表しておりましたが、そんな悠長なことは言っていられないと施設整備に全力で取りかかる事にしました。佐原聖家族園でも経営は厳しくそれで施設整備に五年かかりました。聖家族園も経営は厳しいで

母像の周囲に植えることが出来た。遠からず一番目立つところ咲き続け、私たちを見守っていてくれるに違いない。

すが、今回本部の援助を頂き、施設整備に取り掛かる事ができました。

さて、自立支援法は廃止と決まっております、平成25年8月には、障害者総合福祉法が制定される予定ですが、それまでの間は、現在の自立支援法が効力を持つているため、平成24年3月までに新体系へ移行しなければなりません。多くの問題がある自立支援法への移行は当初から消極的でしたが、平成24年3月までには移行する予定です。スプリングラーを含め最低限の設備はそれまでに整備する予定です。海上寮療養所の時も、佐原聖家族園の時も、多くの職員に助けられました。聖家族園でもよろしくお願い致します。



施設長就任にあたって

佐原聖家族園 園長 高木美枝子

平成13年4月に創設されました佐原聖家族園は、今年の4月で10年目を迎えました。私は、二十数年間障害関連施設等の現場を経験してまいりましたが、これまで三代に渡る施設長が築いてきた施設を担っていくことになり、施設長という職が私に適しているのかもわからないままに就任となり緊張の思いで今年4月を迎えました。

後戻りもできず早2ヶ月が経過しましたが、楽しいこと悩むこと、大なり小なりいろいろなことがある毎日です。利用者職員とともに大家族が生活していることを実感する日々を送っています。新米施設長ではありますが、使命と責任を持って、保護者をパートナーとして利用者が主人公の心温かな明るい家庭、家族、施設作りを努め、利用者、保護者、職員が支えあいながら、施設の名のとおり「私たちは家族です」を目指して行きたいと思っています。

また、私はこの佐原聖家族園への異動前には、地域の中で相談事

業の職に就いていました。地域での様々な相談を受ける中、制度の狭間でどうにもならない相談を抱え途方に暮れることもありましたが、そんな中で多くの関係機関と連携すること、助け合うことの大切さを身をもって経験してきました。「脱施設」などという言葉も聞かれますが、決してそのようなことはなく、これからは、施設が地域に対して何ができるのかを考えながら、地域から必要とされている施設の現状も理解しつつ、施設が地域に開かれ、これからの福祉の拠点となれるよう努力したいと思えます。

そして、法制度がめまぐるしく変わる中、新たな制度がどのような方向付けを行うとともに、利用者のニーズに引き続きしていくこと、そして、地域に根ざした施設として、福祉に対し寄与貢献できるよう職員一同力を合わせてまいります。さらなるお力添えとご指導を賜りますようお願い申し上げます。

はじめまして!! 発達支援室です。

発達支援室 主任 佐藤郁夫

平成19年7月、「東総地域に療育を!!」という地域の声を受け発足した香取海匝地域療育システムづくり検討会【会長 国保旭中央病院小児科神経発達診療部長前本達男先生】(以下、検討会)では、「アンケート調査やミニ勉強会を通じ、療育に関する地域の課題や療育を必要とする方のニーズ把握に努めて参りました。

「医療、福祉ともに子どもに特化した機関が極めて少ない」「必要な情報が必要な時に届かない」「誰に相談したらよいか分からない」といったことが明らかとなりました。

○療育相談事業の実施

明らかとなった課題の解決に向け、平成21年4月、療育相談事業を4市4町(銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町、東庄町、横芝光町)から受託し、専属の療育コーディネーター1名が窓口となり展開してきました。多くの方から多種多様な相談を受けてきましたが、福祉サービスの調整だけでは不十分で、種別や分野

を問わない対応、子ども一人ひとりへの適切な見立てと具体的な手立てが必要で、4市4町という広域での活動にも限界がありました。

○発達支援室開設と今後

香取海匝地域で取り組みを進めている間、千葉県では第四次障害者計画の策定が進み、特に子どもの支援については療育支援専門部会という組織で協議が進められていました。県内2箇所、療育支援コーディネーターのモデル事業を実施することが決まり、そのうち1箇所を当検討会が担うこととなりました。

その流れの中で、平成22年4月、新たに臨床心理士を2名配置し計3名体制にてモデル事業の受け皿となる発達支援室を開設しました。発達支援室の活動は、前本会長を中心とした検討会の活動に準じています。関係機関との綿密な連携、自立支援協議会等への提議、子どもに関連する施策や事業との深い関わりを通じ、療育環境の充実を実現していきたいと考えます。

厚生労働省新任者研修生感想文

社会・援護局

障害保健福祉部

企画課 横田 正明

聖母療育園での研修では、ロザリオの聖母会が運営されている多くの施設を見学させていただき、また、実際の現場で働いている職員の皆様との意見交換をする機会を与えてくださり、本当に充実したものとなりました。

実際に利用者の皆様と接し、食事介助やレクリエーションを手伝う中で、「人間の尊厳」や「生きるということはどういうことか」等々について改めて真剣に考えました。また、「障がいのある方々が安心して生活できるような社会を実現するためには、厚生労働省としてどうすればよいのか」という問題について研修生だけで議論することもありました。

今回の研修は短いものであったため、ほんの一部の方々としか接する機会がなく、十分に現場を理解したとは思っていません。私は、これからも何度も何度も現場に足を運び、現場の声・利用者さんの

声を聞き、その意見を制度づくりに反映させていきたいと思っています。

先日、私は、障害者福祉に携わる部局に配属となりました。障害者自立支援法に関係する部局であり、聖母療育園での経験が活かせる部局でもあります。精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、お忙しい中、わざわざ私たちのためにこのような貴重な経験を与えてくださった聖母療育園の皆様には、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

社会・援護局 援護企画課

市嶋 謙一

聖母療育園での研修では、介助のお手伝いをさせていただいたり、職員の方々との意見交換を行った

り、聖母通園センターや、ふたば保育園など聖母療育園以外のロザリオの聖母会が運営されている施設を見学させていただきなど、多くのことを経験させていただきました。

そのような研修をさせていただ

く中で、現場の重要性というものを再認識し、より良い制度設計を行うためには、現場の状況を把握し、その実情に即して、制度を考えていく必要があると感じました。

また同時に、利用者の方々、現場の職員の方々、そして利用者の方々の家族の方々、そして生活するにはどのような仕組みづくりが重要なのかということを考えさせられました。

短い間でしたが、非常に多くのことを勉強させていただきました。この経験をこれからの業務に少しでも活かしていけるよう精進してまいります。

最後になりましたが、研修中親切に対応してくださった職員の皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

職業能力開発局能力評価課

秋元 篤史

聖母療育園での研修は私の介護現場に対するイメージを大きく変

えるきっかけとなりました。施設というと精神的にも肉体的にも仕事が辛く、職員の方は暗いというイメージでした。しかし、実際に中で働くと、職員の方々を利用者さんとコミュニケーションがしつ

かりとれており、笑顔に溢れ、私自身も明るい気持ちになりました。特に職員皆さんが、「利用者さんを見てみると心が癒される。」と言っておられたことが非常に印象的でした。職員の方、利用者さんの両方が幸せになれる素晴らしい施設であったと思います。

また、施設と利用者さんのご家族との関係が非常に重要であるということを感じました。施設の至る所で利用者さんのご家族の提案や協力が見られました。いい施設というのは無いのかもしれない。しかし、職員の方々や利用者さん、そのご家族が協力しあうことでいい施設になっていくと感じました。私は労働系の技官ということで雇用の面から障害者福祉の政策に精一杯取り組んでゆきたいと考えております。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。同時に、聖母療育園の皆様には深く感謝しております。

医政局医事課

清水貴也

今回の研修では、聖母療育園の実地研修と、その他の附属施設における視察及び関係者との意見交換を行いました。実地研修では

実際に、介助や看護に参加することでこういった施設の現状や現場の意見を直接伺うことができませんでした。介助に参加して感じた事は、こういった施設での仕事は、他の病院や施設とは異なり、高い観察力や注意力を要するといった点でした。自身で直接的に症状を訴えるのが難しいため、看護にあたる職員の方が、普段の仕事の中で何を求めて、何を訴えているのかを見逃さないよう努力している姿が印象的でした。また、一人一人に対して、他の病院と異なり体位や食事など介助が多様性に富んでいました。この点に関しては、1ヶ月や2ヶ月といった短期間でなく、長期間における職場での経験によって培われる、と学びました。そのためには、この職場だけに限りませんが、継続して続けられる雇用体制が介護の現場では極めて重要である、といった点を実感しました。今回の実習を通じて得た経験を基に、これからの医療行政に活かしていきたいと思います。最後になります。が、実習でお世話になった職員の皆様には厚く御礼申し上げます。

**中核地域生活支援センター
業務を担うにあたって**
海匠ネットワーク所長 吉野智

4月から前任の白井より業務を引き継ぎました吉野と申します。ロザリオの聖母会に平成8年に入職して14年が経過しました。

中核地域生活支援センターは平成16年に千葉県の独自施策として開始され、ここまで千葉県の福祉を創る役割を果たすべく、所属するコーディネーターは日々奮闘しております。広報ロザリオでも中核センターについては何度か取り上げられておりますので、あらためて私が説明するまでもないので、福祉の総合相談センターとして、相談から派生する支援業務、権利擁護業務、そして満たされないニーズを解決していくために並行して地域づくりを推進しています。今年度から大幅に委託費が減額となり、その制度のあり方があらためて問われています。千葉県内の誇る事業として、その理念をしっかりと認識し、中核地域生活支援センターがどうあるべきか、ヴィジョンを持って業務を担っていくよう努力したいと思えます。

「友の家」「旭障害者支援センター」に異動して
所長 白井正和

4月1日より「友の家」および「旭障害者支援センター」の所長として異動してまいりました。

友の家は平成11年4月に精神障害者地域生活支援センター（精神保健福祉法）として設置され、生活上の様々な相談に乗ってきました。現在は障害者自立支援法に基づく「地域活動支援センターI型」「指定相談支援事業」「障害程度区分認定調査業務」と千葉県より「精神障害者地域移行支援事業」を委託し、5名の職員が幾つもの役割を抱えながら事業展開をしています。この事は地域から人材の活用を必要とされていることを改めて感じていきます。職員が地域に向く頻度が高くなっています。しかしながら一般相談とフリースペースを含むプログラム活動も以前から継続されています。私自身精神障害分野で不慣れな事も多く、戸惑いながら進んでいますが開設時からの役割の変化、今後の事業所のあり方を今までの実績を踏まえ、職員全員で模索したいと思えます。

新任者紹介

海上寮療養所



看護師 岡本 幸子
5月に就職し早く仲間になれたらいいなと日々がんばっています。
患者の想いを受け止められる看護を目指しています。よろしく。



看護師 宮内 愛子
生まれは北海道で性格は頑固で真面目な落ち着いた雰囲気の人です。
看護師歴も永く期待しています。みなさんよろしく。



作業療法士 梶本 直弥
6月より勤務。湘南育ち。前向き志向な性格とサッカーで鍛えた柔軟なフットワークに期待。



看護師 館 管理子
趣味は、サッカー観戦です。重心施設は、初めての経験ですが仕事にも慣れ頼れる存在の館さんです。



作業療法士 松森 英樹
ギター片手に子供と童謡を歌うことが趣味の37歳です。療育に携わりたいたいという想いを胸に東京から来ました。笑顔が心がけがなばります！

聖母療育園

寄付者御芳名

平成22年
3月31日
～
6月29日

竹蓋 仲六
関塚 充恵
齊藤 麗子
丸山 隆男
細瀧 このゑ
小澤 さわ子
伊原 万里
田原 整骨院
渋谷 要之助
太田 大志郎
遠藤 保子
岩淵薬品(株)
石毛 秀穂
島田建設(株)
穴澤 徳司
遠藤 しん子
笠原 富美子
NPO法人スポーツアカデミー
今井 勝利
岩井 昭
千葉県重症心身障害児(者)を
加藤 恵子
安藤 恵子
ちば醤油(株)
代表取締役 山本一郎
荒井 哲男
加藤 誠子
石澤 誠子
秋田 世紀子
加瀬 健一
畔蒜 良平
佐賀井 あき
(有)越川呉服店
小原 月子
岩藤 大和
小嶋 静馨
鮎木 静雄
柏木 幹雄
石鍋 作次

宇井 千代子
川口 美代子
向後 真紀
金岩 哲哉
(有)ケンシンデパイツ
小川ひさこ
吉田 和子
増田 道雄
岩井 和子
サザエ 向後由江
越川 健夫
越川 典子
枝村 嘉生
ホームインストア東総
銚子ステーション
市来 満里子
(有)片山肉店
(株)トラヤ 遠藤孝二
カトリック松戸教会
コスモスの会
島崎 茂
伊藤 堯公
山口 典子
江波戸 郁子
斎藤 謙
高根 光子
旭タクシー(有)
(有)カワカ
大関 節子
渡辺 征郎
千葉ノミ(株)
林 一雄
松井 光子
(有)ユーシン電設
(有)フアイン
橋本 美起子
鶴田 医院 鶴田純一
清水 まさ
塚原 淳一
八日市場瓦斯(株)
(株)大門商店 吉野真里子
にしと風福祉会

林 紀夫
笠島 光世
畑中 利治
小澤 八重子
金秋 陸夫
(有)栗源運輸
矢指スポーツ少年団
(有)土屋保険サービス
八木 雅之
飯野 美智
平田 豊之助
秋山 茂樹
蓮見 茂行
みのや商店 度會成宏
川島 鉄也
総武ガス(株)
(有)ワーキングウエア川口
川口靖夫
(株)丸平
山口 敏夫
平野歯科医院 平野清
豊田 雅美
(有)銚子クリーンサービス
宮内電気管理事務所
川長 商店
山岸 一郎
深谷 みどり
榎谷 文子
仲村 敏治
森管工(株)
(株)マンツーマンアカデミー
田丸 房江
林齒科医院 林寿
(株)福富製作所
長岐 寿郎
パラメディカル(株)
池田 真人
西山 博
松崎 圭子
中村 富美代
安原 包夫
菅谷 勝男
野中 ハルエ
高木 ちか子

加瀬 小夜子
山口 英昭
山根 英計
竹下 衛司
竹村 富士男
田村 よみ子
(有)寿自動車
副島 恒夫
鶴岡 丈夫
高橋 誠夫
三浦 富夫
小田部 早苗
山本 丈夫
(株)房和
加藤 和子
八木 道子
塩原 商店
阿部 養博
(有)伊藤養豚
鈴木 教義
鈴木 照夫
小川 浩章
佐藤 憲高
三賢 治
市川 宏子
宮本 美智子
(株)わたしん
東栄 寺
(株)銚子杉野
いしみ歯科医院
藤野 雅弘
西田 泰子
関根 清一
加瀬 さく子
中村 正敬
武田 昭一
阿部建設(株)
大山 廣子
島田 ミサオ
(有)鈴木自動車整備工場
外口 静子
小林 俊介
小川 京子
加瀬 和子
梶内 金子

吉田 毅郎
加瀬 昭二
加藤 裕子
安藤 裕子
(有)酢屋石油店
吉田 佳代子
梅室 知子
(有)伊藤製麵所
岡信 夫
石井 奎一
武井 奎一
元永 和生・明美
鈴木 春雄
平塚 愛子
竹下 文和
三菱電機ヘルテックノサービス(株)
西丸 華梨
増田 清二
浅見 精二
神津 剛夫
ブライムリブ
姫沼 宏昌
上木 名慧子
田中長五郎商店 田中瑞雄
鎌方 勝夫
(株)網中建築設計事務所
林 繁喜
荒井 繁功
吉田 俊郎
石毛 滋樹
堀川 洋子
藤崎 商店 大八木吉男
長井 幸雄
若井 一夫
奥村 利夫
小宮 和彦
松本 平八郎
細瀧 このゑ
佐々木 日出男
野口 厚子
穴沢 久子
飯嶋 建具店
高野 文夫
向後 文司

石毛 辰衛
飯島 喜子
石村 和子
田村 昭夫
(有)大屋商店 嶋田秀雄
井上 敬三
木村 潔
飯島 重雄
小島 昭三
小澤 昭三
大関 喜市
村田 米治
石井 卓磨
(有)アドラップ
宮崎 達也
大木 勝雄
荒井 三知乃
吉田 達夫
江波 戸勲
大胡 雅巳
笠島 光世
加瀬 禮子
宇奈加美三千年ノ館資料館
神成田 知千
秋葉 道子
土屋 和夫
関本 光彦
HANITYA AKI
小林 令子
桜井 恵介
土屋 和夫
(有)ケンシンデパイツ
あざみ 会
高木 ちか子
桜井 恵介
金岩 哲哉
日本カーソリューションズ(株)
日本原子力発電関連企業
労働組合総連合
山本 明美
風間 誠
谷 三保子
(敬称略)

第21回ロザリオ福祉まつり

日時 10月24日(日)

午前10時～午後2時

場所 ロザリオの聖母会

＆お願い

- ① バザー品の提供
- ② バンド、大道芸人などの参加
- ③ ボランティア協力

バザー、模擬店、催し物、ミニSL、ふれあい動物園、お楽しみクジそして魚のつかみ取りなどなど、あふれんばかりの楽しさで、毎年ご好評を頂いています。

今年も大いに盛り上げようと、
連絡先 法人本部
0479(60)0600

障害者・家族・ボランティア・職員が一丸となって頑張っています。

※※※※※ ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画 ※※※※※

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成20年4月1日から平成23年3月31日の3年間
第2期(平成20、21、22年度)
平成22年4月1日変更(目標4の追加)

2 内容

目標1 【有給休暇の取得率】
①第1期に引き続き、年次有給休暇の取得率を50%以上にする。
②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対する処遇配慮】
①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対する処遇配慮】
①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】
①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対策

- ・法人の月報(職員向け広報紙)や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
- ・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
- ・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。

スプリングコンサート

桜の開花と同じ時期、3月31日(水)、千葉県立銚子商業高等学校吹奏楽部による、第7回スプリングコンサートが開催されました。

演奏だけではなく、コーラス・ダンスと、盛り沢山の内容で、幅広い年代層が楽しめる曲構成でした。

黒潮打線ならぬ、黒潮サウンドを堪能できました。

家族会・(株)資生堂より寄贈品 佐原聖家族園

このたび佐原聖家族園では、家族会様より46インチ薄型テレビの寄贈がありました。壁掛けになっているのでとても見やすく安全です。また、(株)資生堂からもスーパーマイルドシャンプー1箱寄贈がありました。洗い心地が良く、香りの良いシャンプーです。

家族会の皆様、(株)資生堂様心より感謝致します。

平成21年度ロザリオの聖母会 苦情受付状況のお知らせ

一、施設別件数		四、苦情分類別件数	
海上療養所	2	ケアの内容	2
聖マリア園	1	個人の嗜好・選択	2
訪問介護事業所	2	その他	0
佐原聖家族園	1	計(重複あり)	7
法人本部	1	五、内容別件数	
計(重複あり)	7	備品損害	0
二、受付手段別件数		利用者(同居者)の暴力・他害行為	0
口頭	3	施設運営に対する不満	4
電話	4	職員の態度・支援方法等に対する不満	0
ファックス	0	利用者の行為に対する近隣からの苦情	3
封書	0	その他	0
意見箱	0	計	7
連絡帳	0	六、想定原因別件数	
メール	0	サービス内容	2
不明	0	利用者の行為	0
計(重複あり)	7	職員の態度・配慮不足	2
三、申し出者別件数		説明・情報不足	0
本人	3	権利侵害	3
家族	3	不明・その他	1
近隣居住者	0	計(重複あり)	11
行政	0	七、第三者委員への報告・調停	
匿名	0		0
その他	1	本会では、寄せられた苦情に適切に対処することを通じて、より一層のサービス向上に努めたいと考えています。	
計	7		



行事予定

- 22. 7. 6~8 新採用職員研修会
- 7 経営会議、総合安全対策委員会
- 8 地元説明会
- 9 クリーンデー
- 14 経営会議
- 21 法人運営会議、経営会議、聖心女子学院生ワークキャンプ
- 22 人事考課制度研修会
- 27 平成22年度入職者研修会
- 28 理事会、地域生活支援会議、平成18年度入職者研修会
- 8. 4 総合安全対策委員会
- 25 地域生活支援会議
- 26 人事考課制度研修会
- 9. 1 合同防災訓練、経営会議、総合安全対策委員会
- 7 師長・主任・副主任全体研修会
- 8 経営会議
- 10 クリーンデー
- 15 法人運営会議、経営会議
- 22 理事会、地域生活支援会議
- 24 人事考課制度研修会
- 10. 1 秋季人事考課
- 5 平成21年度入職者研修会
- 6 創立記念日行事、経営会議、総合安全対策委員会
- 8 クリーンデー
- 12 平成20年度入職者研修会
- 13 経営会議
- 19 平成19年度入職者研修会
- 20 法人運営会議、経営会議
- 24 第21回ロザリオ福祉まつり
- 26 平成18年度入職者研修会
- 27 地域生活支援会議

学 ぶ

福祉活動の内容はそれにならずに、わる人間によってその「質」が決まる。福祉関係者に教育・研修の必要な理由はここにある。繰り返すが、私どもが行う福祉は我々職員員の質によってその内容が決まるということである。

ロザリオの聖母会が職員の教育・研修を重要視する理由はひとえにその入所施設の内容・通所施設の内容・地域生活支援の内容・地域づくりの内容を高めたからである。教育・研修は福祉充実の源泉であり、その魂である。

専用メールアドレスのお知らせ

ご意見、ご感想のある方は下記のアドレスまでお願いします。

koho@rosario.jp

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設行事のために常時ボランティアを必要としています。

関心のある方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。お問い合わせ

TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

編集後記

▼今年度より、委員をやらせていただくことになりました。よりよい広報誌を作っていくようがんばります。(S・K)

精神科・内科(医療保護施設)	海上療養所	精神障害者通所授産施設	ワークセンター	地域生活支援センター	友の会	聖母療育園	重症心身障害児通園施設	聖母通園センター	障害児デイサービス	ふたば保育園	身体障害者療護施設	聖マリア	生活介護事業所	聖マリアデイサービスセンター	知的障害者更生施設	聖家族	知的障害者通所授産施設	みんなの家	障害者就業・生活支援センター	東総障害者就業・生活支援センター	生活介護事業所	聖家族作業所	高齢者支援事業	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	中核地域生活支援センター	海匝ネットワーク	旭市相談支援事業	旭障害者支援センター	共同生活介護・共同生活援助事業所	グループホーム支援センター	知的障害者更生施設	佐原聖家族園	重症心身障害児通園施設	つどいの家	共同生活介護事業所	ケアホーム香取	香取市相談支援事業	香取障害者支援センター
----------------	-------	-------------	---------	------------	-----	-------	-------------	----------	-----------	--------	-----------	------	---------	----------------	-----------	-----	-------------	-------	----------------	------------------	---------	--------	---------	---------------	-------------	--------------	----------	----------	------------	------------------	---------------	-----------	--------	-------------	-------	-----------	---------	-----------	-------------